

やけのそよ風



No. 6

令和4年6月7日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

ほめるコツは「サ行」で ～自信をつけ、やる気を引き出す言葉～

人間は褒められていやな気持ちになる人は誰一人としていません。「やってよかったな」と充実感を味わい、「これからも頑張ろう」とやる気が出てきます。人を褒めるという行為は、人を成長させる「特効薬」だと言えます。子どもに自信をつけ、やる気を引き出す元気の出る言葉かけには、「さ行」（さ・し・す・せ・そ）の文字のついた言葉を発しているという共通項があります。



- ・「さすがだね」…あなたがやっただけのことはあると、行為を認めることです。
- ・「失敗してもいいよ」…完成を求められないと、安心感が生まれて心が楽になります。
- ・「すごいね」「素晴らしい」…高く評価されることは嬉しいものです。自信がつきます。
- ・「成長したよ」…進歩の状況を認められると、さらに頑張ろうとやる気生まれます。
- ・「そうだね」「そのとおりだよ」…同調され、共感的に受け入れられると、心が安定します。

子どもの今の状況を受け入れて共感し、そのうえで認め、さらにやる気をもたせる言葉が「さ行」に集まっています。子どもの行為に「さ行」の言葉で返すことが子育てのコツだと言えます。

逆に、子どもの言動に対して、「でも、これはどうなの」「だって、これはこうだったでしょ」「どうせ、こうだから」といった言い方は子どもの意欲を阻害します。それを聞いた子どもは心にバリアをつくり、「どうせ、自分はダメなんだ」と思い込んでしまいます。まずは「よく頑張ったね」と認め、「これからもその調子でね」と励ますようにしたいものです。

（参考文献：「保護者と語りたい子育て話材 50」北俊夫著 文溪堂）

やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【5年生校外学習（京都水族館）】5月24日（火）



コロナ感染症の影響で、子どもたちにとって久しぶりの校外学習となりました。水族館では、グループで海の生き物を見学しました。見たことや気づいたことなど、しっかり記録をとっている子がたくさんいて立派でした。イルカショーでは、イルカが高くジャンプする様子に歓声をあげていました。見学のマナーもよく、時間を守って行動できました。グループで協力し、楽しくすごせた1日でした。